

平成30年度 亥さん午さん達の田作り

～第12期大椎っ子田んぼ、第9期あすみっ子田んぼ 番外編 カカシ作り～

8月22日、台風20号が通過した猛暑の中、幼児から中学生まで20人もの子どもたちがカカシ作りに参加してくれました。竹の切り出しと古着の用意はしておいたので、暑い中でも「どんなカカシにしようかな」とわいわいにぎやかに作業が進み、あっという間に7体ものカカシが完成しました。湧き水豊富な学校田んぼの稲は猛暑でもしっかりと分けつし、多いものでは10本以上になっており、そのほとんどが出穂し稲の花を咲かせていました。今年もたわわに実りますよう、子どもたちが稲刈りするまで稲穂を守ってくださいますようカカシに願いを込め、出来上がったカカシを学校田んぼに立てました。個性光る7体のカカシたちを紹介します。

★青木琢真（大椎中2年生） ぼくは今年で3回目のかかし作りとなります。かかしに着せる服は好きに選ぶことができました。手にとった服がたまたま大椎中の野球部の古いユニフォームでした。だから布や竹を使ってボールやバットを作りました。今年のかかし作りでこだわったところは顔です。他の人が作ったかかしは、かっこいい顔やかわいい顔だったので、ぼくは少し違った感じにしようとネズミの顔にしてみました。なんとなくウサギの顔になってしまいました（笑）。ネズミは米を食べてしまいますが、富の象徴として豊作を願うという意味でなかなかよい顔だと思っています。



ラット君



かかし☆かっしーくん

★久保木 孝洋（あすみ小5年生） 友達と協力しながら作る事が楽しかった。服の中にワラを入れて形を作る事が難しかった。初めてのカカシ作りを通して、「カカシ」いう字が「案山子」という事を知れて勉強になった。

★大原広輝（あすみ小1年生） おかあさんにかかし作りに行こうと言われたけど かかして何か分かりませんでした。行ってみたらお友だちも来ていて一緒に作りました。そして、みんなで かかしになまえもつけました。ぼくたちのかかしは、「かかし☆かっしーくん」となまえをつけました。とてもあつ日だったけどすごくたのしくて家に帰りながらずっとかかしのはなしをして帰りました。

★山田 拓人（あすみ小5年） ぼくは「カバライオン」を作りました。わらを入れるのをがんばりました。色々あったけど、楽しかったです。

★岸 裕大（あすみ小5年） 僕は、友だちと初めて案山子作りをしました。二本の竹を組み合わせて体を作ってから、洋服を着させました。でも、お洋服を着せるだけではやせているので、わらや草をつめていったら、ふっくらして人のようになりました。僕たちは、その案山子を「カバライオン」と名付けました。わらをつめるところが大変だったけど、力を合わせてがんばって楽しかったです。



カバライオン カバ顔



カバライオン ライオン顔



HANA

★森 悠真（あすみ小5年）

かかし作りはなかなか出来ない体験なので良い経験だったと思う。

かかしの体にわらをつめるのが大変だったけどうまくできて良かった。とても楽しかったです。

★佐藤未侑（あすみ小5年）

私は初めてかかしを作りました。竹で土台を作ったり、洋服に藁をつめたりして、皆で協力して作りました。頭と胴体をくっつけることが一番難しかったです。かかしを田んぼに立てた時、この田んぼをちゃんと守ってほしいなと思いました。



わらすけ



みどりちゃん



おおじくん



★下大和田YPPのかかしたち

下大和田では今年15体のかかしが作られました。そのうちの美男美女を紹介します。



★成年なのに…気の早い亥出没！その②

今年の2月号で紹介したイノシシ出没情報の続編です。数年前から小山町と数キロと離れていない緑の森工業団地(千葉市緑区大野台)ではイノシシが頻繁に出没し捕獲もされていると情報がありましたが、小山町近辺では今年の1月に足跡があっただけで出没情報はありませんでした。しかし、9月の半ばごろからYPPがお借りしている棚田の畦が連日のように荒らされようになり、そこにイノシシ特有の二つ爪の足跡があったため、イノシシの仕業と特定し千葉市環境保全課に連絡し対策の検討をお願いいたしました。

千葉市のHPに「イノシシは集落内の田畑に隣接した耕作放棄地などで生活し、夜間、田畑に出没する」とありました。田畑に出没するのは「地表や地中を掘り起こしてドングリ、タケノコ、昆虫、ミミズ、タニシ、カエル、ザリガニ、ヘビ、クズの根、山芋などを探して食べる。農作物(水稻やイモ、落花生)はとくに大好物」とあるようにエサを探しまわるためのようです。地元の方の落花生畑が荒らされていたそうです。堆肥にしようとした野菜くずや生ごみにやってくる恐れもあると聞いたことがあります。今のところYPPの田んぼでは畦のみの被害で稲は大丈夫ですが、早めの対策を講じたいと考えています。

臆病なため人間などがいない夜間に主に行動するようですが、日中に出没することもあります。イノシシを見かけたら、【①近寄らず、目を合わせず、大声を出さず、ゆっくりとその場を離れる。②絶対にエサを与えない。ただし、遭遇した場合、エサとなる食べ物は体から離す。③犬を連れているときは危険(飼い主と犬を敵とみなし攻撃することがある)なので、散歩などは十分に注意する】とありました。千葉市環境保全課や地元の方々とも対応を協議していきたいと思えます。※イノシシを見かけたら、千葉南警察署(043-291-0110)か千葉市環境保全課(043-245-5195)へ連絡してください。



イノシシに荒らされた畦



里山たんけんレポート

第 224 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2018年9月2日(日) 小雨・曇



小雨模様であったためトンボの調査は止めて、田んぼ回りをじっくり観察することにしました。田んぼの中は花盛りでトチカガミ、コナギ、キクモ、チョウジタデ、ウスゲチョウジタデ、オモダカ、ヘラオモダカなどが花を咲かせていました。田んぼに暮らす生きもの達もたくさんいました。歩き始めてすぐ驚いて飛び出したコバネイナゴがナガコガネグモの巣にかかりあっという間にイトでぐるぐる巻きにされてしまいました。穂が出始めた緑米にはちょうど食べ頃なのかクモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、イネカメムシがとりついているのが見られました。稲の葉にはトリノフダマシもいました。山林内ではヌスビトハギとフジカンゾウの花が咲いていて違いを見比べたりしました。

(大人9名小学生2名 報告・写真 網代春男)

第 225 回 下大和田 YPP 「コシヒカリ稲刈り」

2018年9月8日(土) 晴れ

最初に鎌の使い方、刈り方を教わり、少し刈ってみてその稲の束ね方を教わりました。束ねるのは大人の役割です。ひと通り教わった後、稲刈りに臨みました。田んぼに足を取られながらも子ども達は懸命に刈ってくれました。

刈った稲にカヤネズミの巣があり、後から巣のあったあたりを探したら赤子が2頭見つかりました。巣と赤子と親を一緒に飼育ケースに入れて田に置きました。たくさんの方の参加があり、コシヒカリはおだ掛けまで全部終了しました。農林1号は終了後有志とスタッフで刈り終わりました。片付けが終わったとき東の空に2段のきれいな虹がかかりました。

(参加 大人53名、大学院生1名、大学生3名、小学生33名、幼児17名 報告 網代春男 写真 田中正彦)



第 226 回 下大和田 YPP 「コシヒカリ脱穀」

2018年9月29日(土) 曇・小雨

一昨日まで雨でしたが昨日は晴れました。藁束は乾きませんでした。午後早々はまた雨の予報でありスタッフ、マイ田んぼ関係者は8時前から作業を始め米作り参加者の集合時刻にはマイ田んぼとYPPの半分の脱穀は済ませました。みんな集まって、子ども達もおだから外した稲束を脱穀機脇に運びました。脱穀作業、脱穀した稲束から落とせなかった稲穂を取る作業、脱穀済の稲束の収納は大人が担当しました。脱穀作業中、子ども達はザリガニ釣りで遊んでもらいました。気温が下がったせいか全く釣れず、最後には小川に入ってジャブジャブ網で取っていました。収穫は少なかったのですがザリガニ、スジエビを塩ゆでにして味わいました。始めて食べた人は美味しいと歓声をあげていました。

(参加 大人19名、小学生8名、幼児1名、 報告 網代春男 写真 田中正彦)



第 161 回、162 回 小山町 YPP「コシヒカリの稲刈り」

2018年9月16日(日)、30日(日) 曇

9月は雨の日が多い月でしたが、2回の活動日には雨に降られることもなく稲刈りが出来ました。この夏、気温の高い日が多かったせいか、実りが良いように感じましたが、草も多く紛れ、刈るのに手間がかかりました。秋虫の声は涼し気に響いて、楽しい会話は賑やか弾み、時折、来年には、ああしよう、こうしよう。。。などと、一層の実りをイメージし、のんびりと、とても心地良い作業でした。

(9月16日 参加 大人3名：9月30日 参加 大人5名 報告 たんぼぽ)

<谷津田・季節のたより>

小山町

- 9月 6日 オモダカの花。(たんぼぼ)
9月 9日 緑米出穂。スゲバハゴロモ。(たんぼぼ)
9月 22日 彼岸花満開。(たんぼぼ) ツクツクボウシ独壇場(赤シャツおやし)
9月 26日 クサヒバリ、エンマコオロギ旺盛に鳴く、モズ高鳴き(たんぼぼ、赤シャツおやし)

下大和田

- 9月 1日 ヤマホトトギス咲く。(網代)
9月 8日 東屋にコガタスズメバチが巣を作る。9日巣を壊した。(網代)
9月 25日 林内はたくさんのキノコが発生。(網代)
9月 26日 立派なキタマゴタケが発生。(網代)



スゲバハゴロモ 撮影 たんぼぼ

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、谷津田プレーランドプロジェクト(YPP)のイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうしで、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

- ご注意:**
- ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないください。
 - ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
 - ・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。
 - ・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

▼第227回下大和田 YPP「古代米の稲刈り」▼第228回下大和田 YPP「古代米の脱穀」

緑米、黒米、赤米の稲を刈り、おだ掛けし乾します。乾いた稲束を脱穀します。

日時: 稲刈り 2018年10月20日(土) 9時45分~15時 ☆小雨決行
脱穀 2018年11月3日(土) 9時45分~14時 前日、当日雨の時は延期あり。

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。)

集合: 現地9時45分 初めて参加する方は駐車場や会場をご案内しますので事前に、網代(あじろ)090-2301-0413までご連絡ください。

交通: JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで中野操車場バス停下車、徒歩5分で現地。<千葉駅発8:25、8:40など、所要時間45分>料金は540円。

持ち物: 弁当、飲み物、帽子、軍手、着替え、田んぼ用長靴、敷物など。

参加費: ちば環境情報センター会員および家族100円、一般300円、小学生未満無料

主催: ちば環境情報センター **共催:** ちば・谷津田フォーラム

▼里山くらぶ 森と水辺の手入れ

林内や水辺の整備をします。

日時: 2018年10月21日(日) 9時45分~14時 ☆小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上)

集合: 現地9時45分 初めて参加する方はご連絡ください。(同上)

持ち物: 弁当、飲み物、帽子、軍手、長靴、長袖長ズボンの服装、敷物など

主催: ちば環境情報センター

▼第226回下大和田谷津田観察観察会とゴミ拾い

秋色の谷津を巡ります。アカトンボの季節です。

日時: 2018年11月4日(日) 9時45分~12時 ☆雨天決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上)

集合: 現地9時45分 初めて参加の方はご連絡ください。(同上)

持ち物: 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば・谷津田フォーラム、ちば環境情報センター

▼第163回・164回小山町 YPP「古代米の稲刈り」「コシヒカリ・古代米の脱穀」

古代米の稲刈りとコシヒカリと古代米の脱穀をします。

日時: 2018年10月14日(日)、20日(土) 10時~12時30分 ☆小雨決行

場所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場(ご連絡いただければ地図をお送りします)

持ち物: 飲み物、長靴(長めのもの)、帽子、軍手、敷物。

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば環境情報センター



オモダカの花 撮影 たんぼぼ

■編集後記 今月号では、田んぼを見守ってくれている案山子達の表情をお伝えしました。この夏は台風の発生数も多く、稲への影響がとて懸念されましたが、下大和田も小山も無事、秋の収穫を迎えることが出来ました。収穫に沸く子どもたち、大人たちを、今ではかなりくたびれた様子の案山子達が静かに見守ります。幾多の雨風、日照りを乗り越え見守り続けた誇らしき顔。ありがとう!案山子達!!! (赤シャツおやし)